

異国の楽器、歌に大きな拍手

ベネズエラ「ララ・ソモス」相馬で公演



豊かな演奏を披露する「ララ・ソモス」のメンバー

【鈴木博・ふるさと記者】ベネズエラの楽団「ララ・ソモス」の相馬公演は二十日、相馬市総合福祉センターはまなす館で開かれた。相馬市に音楽支援しているエル・システマジャパンの主催。日本ツアーの第一弾。メンバーは民俗楽器の演奏や歌で「ララの美しいもの」「イパネマの娘」などに加え「上を向いて歩こう」を日本語で熱唱すると、来場者から大きな拍手が送られた。

楽曲、相馬子どもオーケストラは「相馬盆唄」で歓迎した。

地元の相馬合唱団エスポワールは「荒城の月」や「浜辺」などの